

令和３年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

番号	所 属・団 体	項 目	令和3年度実施予定事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画														
			新 規 事 業	事 業 名 等	事 業 内 容	時 期	場 所	対 象 者（参加者数）	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 （例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等）	健康格差の縮小と健康寿命の延伸と重症化予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上	健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進										
													こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康	栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康		
1	高齢者いきいき課	その他		配食サービスの委託	月曜日から土曜日まで（年末年始を除く）のうち希望する曜日の夕食を、ご本人に手渡しで提供 http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koureisya/haishoku.html	月曜日から土曜日まで（年末年始を除く）	各世帯	次のいずれかに当てはまる方 1.介護保険の要介護4または5の介護認定を受けている65歳以上の方 2.次の2つの条件を両方満たす方 ①世帯の全員が65歳以上で、かつ調理が困難で支援が必要である ②利用対象者が低所得（合計所得金額160万円未満）である。	配食配達員のマスク着用、申請の郵送受付により、感染拡大を防ぐことに努めた。	○	○				◎		○						
2	高齢者いきいき課	その他		デイ 銭湯	健康チェック・体操・入浴等の生きがいと健康づくりを公衆浴場（銭湯）で実施 URL:http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koureisya/day_sentou.html	3カ月の間で6回	市内各銭湯	65歳以上の市民	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温、換気の徹底、クラスを2つに分けるなどソーシャルディスタンスを確保し、事業継続の工夫をして実施している。	○	○	○			◎			○	○				
3	高齢者いきいき課	その他		いきいきサークル事業	1週間～1か月に1回、自治・町内会館などを実施場所として、軽体操・健康講話・各種レクリエーション活動等の生きがい・健康づくりを行う。 URL： http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koureisya/ikiiki_circle.html	随時	市内各所	60歳以上の市民	参加者の新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、フェイスシールド、マスクの着用、検温、会場の消毒、換気など感染防止を徹底し実施している。なお、外出等の自粛要請を受けて活動を見合わせている団体もある。	○	○	○			◎			○	○				
4	高齢者いきいき課	その他		みらいふる鎌倉（鎌倉市老人クラブ連合会）支援事業	会員同士の交流や親睦を深めるなど生活を豊かにする楽しい活動や清掃ボランティアやサロンの開催など社会活動を行う。	随時	市内各所	60歳以上の市民	マスクを着用し、検温、手洗い、換気、ソーシャルディスタンスの確保をとりつつ、新型コロナウイルス感染拡大防止を図り活動を実施している。なお、一部事業について活動を見合わせている状況にある。	○			○					◎					
5	高齢者いきいき課	その他		シルバー人材センター支援事業	就労機会の充実を図り、生きがいづくりへの支援を行う。	随時	市内各所	60歳以上の市民	新型コロナウイルス感染防止のため、マスク、フェイスシールドを着用し、検温、消毒を行い、ソーシャルディスタンスをとりつつ感染防止を図り、事業活動している。	○			○					◎					
6	商工課	その他		生涯現役促進地域連携事業	知識、経験豊かな高齢者を活用して、地域課題の解決に取り組むとともに、高齢者には社会参加や生きがいづくりの機会を与えることを目的に、高齢者の就労を支援する。就労相談窓口の開設、就労啓発セミナーの実施など。	随時	市内各所	55歳以上の市民	相談事業は原則電話対応とし、セミナー等の事業は参加定員を減らして実施する。合同就職説明会については参加者及び参加企業を減らすとともに、2部制にすることで密にならないように努める。使用物品の消毒や参加者の検温・手指消毒の徹底をする。	○			○					◎					
7	市民健康課	情報提供・普及啓発		古都をトコトコ鎌倉健康歩イント	スマートフォンアプリ等を用いてのウォーキングなどに対してポイントを付与し、獲得したポイントをギフト券と交換できるもの。ターゲットは、30代～50代を想定しており、早いうちから健康づくりに取り組むことで、将来の生活習慣病の発症や重症化の予防につなげる。	R3.6～R4.3	各所	20歳以上の市民目標2,500人	特になし	○	○	○	○	○				◎					
8	市民健康課	情報提供・普及啓発		未病センターかまくら	市民が手軽に健康状態をセルフチェックし、自分の健康状態を「見える化」することで、その結果に基づき「未病改善」に取り組むためのアドバイスや情報提供を行う。	平日10時～15時（予約制）	鎌倉市福祉センター1階	市民及び県民	令和2年7月から予約制とし再開をしている。利用者への事前の検温と体調チェックの協力依頼と、測定機器や高度接触面の消毒を行っている。	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	市民健康課	イベント		ピンクリボンかながわ	乳がん早期発見のための検診受診、自己触診の習慣化などを周知し、市民へ啓発する。 湘南モノレール車内にポスター等を掲示予定。	10月	湘南モノレール車内	市民	感染対策のため、啓発ブースやトークショー等のイベントは開催せず。ライトアップイベントの周知などを行っている。	○	◎												
10	市民健康課	その他		乳幼児健康相談（抱っこdeシャベル）	身長・体重の計測、個別相談、育児のワークショップを行う。 保護者との個別相談の時間を設け、育児、口腔ケア・栄養などについての支援を行う。特別な支援の必要な児の口腔ケア相談。 健診・教室の事後フォローの場ともしている。	年数回程度	市内	乳幼児とその保護者	密を避けるため、予約制にて実施。 保健師、助産師、栄養士、心理士、理学療法士がそれぞれ専門相談として、面接や電話、オンライン、訪問にて個別対応している。	○			○	◎			○	○	○			○	

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れてください

令和3年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

番号	所 属 ・ 団 体	項 目	令和3年度実施予定事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	健康格差の縮小	健康寿命の延伸と 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康	
11	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域食育事業	地域の活動グループ（町内会・PTA・子育てサークル等）との連携・協力により、食と健康づくりの関係について講話等とおして伝える。	随時	各グループの活動場所等	依頼のあった活動団体等	依頼があれば、感染症対策をしながら対応予定。	○	○		○	○		◎						
12	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域健康づくり事業	地域の活動グループ（町内会・PTA・子育てサークル等）との連携・協力により、骨密度等の測定や体力測定、健康づくりに関する講話、健康づくり計画の啓発等を行う。	随時	各グループの活動場所等	依頼のあった活動団体等	【成人】依頼があれば、感染症対策をしながら対応予定。中学校祭等は外部の参加は中止となつて、地域からの依頼なし。 【高齢者】集まる際に必要な感染予防対策を伝えながら、実施。	◎	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
13	市民健康課	その他		成人健康診査事業	スマホdeドック、大腸・肺・乳（マンモグラフィ）・子宮頸がん検診、胃がんリスク検診、乳房健康指導、結核検診、肝炎検診、前立腺がん検診、胃がん内視鏡検診	令和3年6月～令和4年2月	検診実施医療機関（スマホdeドックのみ、自宅）	【スマホdeドック】20歳～38歳の女性および鎌倉市国民健康保険加入男性 【がん検診】40歳以上の方（子宮頸がんのみ20歳以上） 【乳房健康指導】20～38歳の偶数年齢の女性の方 【結核検診】16～39歳の方 【肝炎検診】40歳以上の方（申込制）	密を避けるため、例年通り誕生月ごとで受診期間を区切って案内している（4～7月生まれば6～8月の間、8～11月生まれば9～11月の間、12～3月生まれば12月～2月）が、希望があれば前倒し受診にも対応している。	○	◎					○	○	○	○	○	○	
14	市民健康課	その他		成人健康診査事業	歯周病検診	令和3年6月～令和4年2月	検診実施医療機関	20、24、28、32、36、40、50、60、70歳の者	密を避けるため、例年通り誕生月ごとで受診期間を区切って案内している（4～7月生まれば6～8月の間、8～11月生まれば9～11月の間、12～3月生まれば12月～2月）が、希望があれば前倒し受診にも対応している。	○	○										◎	
15	市民健康課	その他		妊産婦・乳幼児家庭訪問	妊娠、出産、産褥、授乳、育児についての知識を指導し、不安の軽減など精神的援助を行う。 健診・教室の事後フォローとして発達・育児の指導等の指導。 健診・教室の未受診児に対し状況確認・指導。 虐待予防等としての育児指導と保護者等の支援。	通年	妊産婦・乳幼児の家庭	ハイリスク・要支援妊婦、生後4カ月までの全児と産婦。 健診・教室等にて必要とされた児・保護者。 健診：教室等未受診児。 育児等要支援児。	感染対策を徹底し事業継続。対象者の了解を得られず、訪問未実施の場合には、他の育児教室やオンライン電話での状況確認を行っている。また、コロナ禍により、長期里帰りが増加しており、適切な時期に訪問ができるよう滞在先自治体に依頼をしている。			○	◎									
16	市民健康課	その他		妊産婦健康診査	妊娠週数に応じた健康診査を行うことにより、妊娠による合併症、流産・未熟児出生の予防と、母体・胎児及び新生児に影響を及ぼす疾病等の早期発見、早期治療に努める。産後1か月健康診査を行うことにより、産後の母体回復に影響を及ぼす疾病等の早期発見、早期治療に努める。	通年	医療機関	市内在住の妊産婦	医療機関の判断により、健診回数が減らされていると聞いている。					◎		○		○	○	○		
17	市民健康課	その他		妊婦歯科健康診査	妊娠期は、様々な口腔疾患が起こりやすいことを踏まえ、重度の歯周病と早産・低体重児出産予防や妊娠期からの切れ目ない支援の一環とすることを目的とし、無料で歯の状態と歯肉のチェック、歯みがき指導等を実施する。	妊娠中に1回	医療機関	市内在住の妊産婦	緊急事態宣言発令時には受診者数が減。感染対策を徹底して、事業継続するよう、委託先に依頼。					◎		○		○	○	○		
18	市民健康課	その他		産後ケア	母親の産後の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母とその家族が健やかな育児ができるよう支援する	随時	市内	産後4か月までの児と母	【個別支援】感染対策を徹底し継続。ただし、委託先によっては、利用制限が設けられた（他県での分娩や一度在宅した場合には受け入れ不可） 【集団の通所型】令和2年10月開始。最大8組まで、育児に不安のある母児を対象。密をさけるため、4組ずつ、プログラムを入れ替えて実施。			○	○				○					
19	市民健康課	その他	○	産前産後サポート事業	妊婦を対象とした教室（委託事業）「妊娠期のママケア」 産後の教室（委託事業）「産後のママケア」	令和3年8月開始	市内	妊娠中後期～産後4か月までの児と母	コロナの感染拡大の長期化や変異型の増加により若年層への影響も多く、育児中の方の不安が増しているため、新たに開始。感染予防のため、妊娠中は小集団クラスとオンラインにて実施。産後は小集団にて実施。			○	○				○					

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れてい

令和３年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2（R3）

番号	所属・団体	項目	令和３年度実施予定事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	健康格差の縮小	健康寿命の延伸と 生活予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康	
20	市民健康課	その他		乳児健康診査	【４か月児健康診査】 【お誕生前健康診査】 疾患や発育・発達などの総合的な健康診査。問題等発見時には適切に医療、療育、相談につなげる。	通年	医療機関	乳児	期間を延長して臨機応変に対応した。	○		○	◎									
21	市民健康課	その他		幼児健康診査	【1歳6か月児健康診査】 【2歳児歯科健康診査】 【3歳児健康診査】 疾病、発育、発達の総合的な健診。問題等発見時には適切に医療、療育、相談につなげる。 生活習慣の自立、う歯の予防、幼児の栄養、その他育児等に関する指導・相談	通年	鎌倉市福祉センター他	幼児	密を避けるため、完全予約制（インターネット予約）。人数を把握し、10分間隔で来所人数を限定。常時換気、毎回消毒にて実施。集団講話なくし、歯科医師も２診として時間短縮している。	○		○	◎			○	○	○				○
22	市民健康課	その他		ママとパパのための健康チェック	乳幼児健康相談を利用の保護者の骨密度測定等の健康チェックを行い、自己管理意識の向上を支援する。	年に数回	市内学習センター等	乳幼児健康相談を利用の保護者	乳幼児健康相談（抱っこｄｅシャベル）の密を避けるため、中止しているため実施せず。 LINEを用い、子育て中の保護者を含む世代に、未病センターかまぐらの利用を勧奨している。	○	◎	○	○			○	○	○	○	○	○	
23	市民健康課	その他		後期高齢者健診	健診の実施（問診・身体計測・視診・打聴診・触診・血圧・血液検査・尿検査・心電図）及び健診結果に基づいた保健指導	令和3年6月～令和4年2月	健診実施医療機関等	75歳以上の方及び65～74歳で、一定の障害により広域連合の認定を受けた方	密を避けるため、例年通り誕生日ごとで受診期間を区切って案内している（４～7月生まれば6～8月の間、8～11月生まれば9～11月の間、12～3月生まれば12月～2月）が、希望があれば前倒し受診にも対応している。	○	◎			○		○	○	○	○	○	○	
24	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【両親教室（妊娠中からの子育て教室）】 妊娠期間を健やかに過ごし、安全に出産できるよう妊娠、出産、育児についての知識の普及を図るとともに、それらに伴う不安の軽減など精神的援助を行う。地域で支えあう仲間づくりの第一歩として位置づける。	通年（月１回）	たまなわ交流センター	妊娠22週～31週の妊婦及び産婦とその家族	個別対応、最大8組までの集団対応、及びオンライン教室、動画配信を実施。	○	○		◎			○		○	○	○		
25	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【離乳食教室】 離乳食初期についての知識習得と実習。 育児に限らず、防災対策の一環としてのおんぶの効果・必要性について講義と体験をとおして、理解をすすめる。お子さんや保護者が初めて接する「食」体験の大切さを伝える。	通年(月1回)	深沢行政センター	4～5か月児及び9～11か月児と保護者	保護者の試食を中止し、人数を限定して短時間で実施。 電話や訪問等個別対応も実施。			○				◎						
26	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【６か月児育児教室（まんま♡る～ぶ）】 保護者との個別相談の時間を設け、発育・発達の確認、生活リズムや栄養等の育児相談。	通年	市内支所等	乳児	集団講話やグループワークを中止し、最大7組入室、それぞれ保健師が一人ずつ対応し個別重視へ。				○	◎		○	○	○			○	
27	市民健康課	情報提供・普及啓発		小中学生向け思春期出前講座「いのちの教室」	市内小・中学校に出向き「思春期のこころと体の変化」「いのちのはじまり」「性に対する意識と行動」「いのちの大切さ」「あかちゃんのお世話」等各学校の方針に沿った講座	通年	市内小・中学校等	市内在学の小・中学生等	各学校からの依頼を受け実施。状況に応じてオンライン講座とする。	○		○	◎			○	○	○	○	○		
28	市民健康課	情報提供・普及啓発		思春期前講演会	子育てに関わる市民向けに、情報があふれる現代社会に生きる思春期のこどもたちの生きづらさや性に関わるリスクを知ること、家庭や地域の役割やあり方を考える契機とする。	1回	市内	市民	中止	○		○	◎			○	○	○	○	○		
29	市民健康課	情報提供・普及啓発		ライフプラン講演会	ライフプランや性と生、人生の居場所づくりについて考える契機となるよう、市内の高等学校及び中学校と連携した授業を実施。	3回	市内中学校・高等学校	中学生・高等学校の生徒	中止	○		○	◎			○	○	○	○	○		
30	市民健康課	その他		健診事後フォロー教室ちびっこクラブ	集団遊びや創作遊びなどを通じて、社会性や対人関係の発達を促す。幼児の成長、発達には親子の関わりが重要だということを親に気付かせ、健全な親子関係の形成を助長する。育児不安の解消への手助けや子育ての支援を行う。	6日間×4回	たまなわ交流センター	幼児健康診査等事後フォロー児（概ね1歳9カ月～2歳6カ月児）	最大10組程度を半分に分け、1時間ずつのプログラムで実施。使用するおもちゃの限定、毎回消毒、常時換気対策して実施。			○	◎			○	○	○				

令和3年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れて

番号	所 属・団 体	項 目	令和3年度実施予定事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													
			新 規 事 業	事 業 名 等	事 業 内 容	時 期	場 所	対 象 者 (参 加 者 数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	健康格差の縮小	健康寿命の延伸と 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康	
31	市民健康課	その他		健診事後フォロー教室 わんぱくクラブ	集団遊びや創作遊びなどを通じて、社会性や対人関係の発達を促す。幼児の成長、発達には親子の関わりが重要だということを親に気付かせ、健全な親子関係の形成を助長する。育児不安の解消への手助けや子育ての支援を行う。	6日間×3回	たまなわ交流センター	幼児健康診査等事後フォロー児（概ね2歳0カ月～3歳児）	最大10組程度を半分に分け、1時間ずつのプログラムで実施。使用するおもちゃの限定、毎回消毒、常時換気対策して実施。			○	◎			○	○	○				
32	市民健康課	その他		元気アップ教室	運動器の機能向上プログラム等の提供によって、身体機能及び生活機能を向上させるとともに、主体的に健康づくりや介護予防に取り組めるようにする。1回コースと6日間コースあり。	通年	市内	65歳以上の方	定員を会場の定員の1/2以下、参加者同士の距離をあける、マスク着用、手洗い・手指消毒の励行等の感染予防対策をとり、実施。	○	○			◎		○	○	○				○
33	市民健康課	情報提供・普及啓発		65歳以上の方のためのからだの元気度チェック	1日目は体力測定と体組成測定など、2日目は結果説明と運動指導を行う。	市内3ヵ所 2日間コース×3	市内	65歳以上の方	定員を会場の定員の1/2以下、参加者同士の距離をあける、マスク着用、手洗い・手指消毒の励行等の感染予防対策をとり、実施。	○	○			◎		○	○	○				
34	市民健康課	情報提供・普及啓発		かまくらシニア健康大学	介護予防・健康づくりに関する知識の普及啓発をはかることを目的に、介護予防・健康づくりに関する様々なテーマで講座を実施する。	月1回程度	市内	65歳以上の方	定員を会場の定員の1/2以下、参加者同士の距離をあける、マスク着用、手洗い・手指消毒の励行等の感染予防対策をとり、実施。	○	○			◎		○	○	○				○
35	市民健康課	情報提供・普及啓発		認知症サポーター養成講座	認知症について、理解を深め、認知症の方への対応方法等について講義やグループワークを通して学ぶ。	随時	各団体の活動場所等	依頼のあった活動団体等 (児童・生徒も含む)	オンラインでの講座を実施。	◎		○		○	○			○				
36	市民健康課	情報提供・普及啓発		いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会	命の大切さについて再認識し、自殺や精神疾患に対する理解を深めることにより、支えあう地域づくりを目指し、普及啓発を行う。新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会を中止したため、構成員それぞれで活動予定。	未定	未定	市民	オンラインでの講座の開催は困難であり、講演会は中止とした。県精神保健福祉センターと共催で行う予定だったため、講演会の講師に文書作成を依頼し、普及啓発物品とともに、各構成団体での配布をし、普及啓発を図った。	○		◎		○			○					
37	市民健康課	情報提供・普及啓発		ゲートキーパー養成講座	自殺の現状やうつ・アルコールの害や、実際に「死にたい」等の訴えがあった際の話の聴き方や専門家へのつなげ方についての知識の普及啓発を行う。	随時	福祉センター等	市職員 民生委員等の関係団体	感染予防対策を講じた上で、講座を開催した（民生委員主任児童委員、教職員、ファミリーサポートセンター支援会員等）市職員に対し、eラーニング方式の講座の開催を行った。	○		◎		○			○					
38	市民健康課	情報提供・普及啓発		自殺予防普及啓発事業	自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及を目的に、資料の展示や図書館と協力した普及啓発（関連図書の紹介や読み聞かせ）等を行う	自殺対策予防週間及び月間	図書館等	市民	例年通り、9月の自殺対策予防週間は、市役所ロビーでの展示と相談先パンフレットの配架を行った。			◎	○				○					
39	市民健康課	情報提供・普及啓発		母子食育事業	お子さんや保護者が、はじめて接する「食」体験の大切さ・幼児期に適したおやつを共食する楽しさを伝える	年間	市内各所	乳幼児及び保護者	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月まで休止。オンライン離乳食教室の実施及び、離乳食動画の配信を行う予定。	○			○			◎						
40	市民健康課	情報提供・普及啓発		高齢者保健事業における食育事業	個別栄養相談やランチセミナーを通して、望ましい食事とウエイトコントロールについて考える	随時	市内各所	市民	特になし。	○	○			○		◎						
41	市民健康課	情報提供・普及啓発		幼児食育事業「やってみよう！わくわくクッキング」	「自分でやってみたい」という気持ちが芽生える時期の幼児を対象に調理を行い、一緒に食べることで「共食」の良さを味う。図書館職員及びボランティアスタッフによるおにぎり等の絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊びも合わせて実施し、調理への導入を行ったあと、日本の食文化に触れるきっかけになるよう「おにぎり作り」「かつおぶし削り」等の体験を行う。	年3回	たまなわ交流センター	2歳6カ月～3歳11か月までの幼児及び保護者	中止			○	○			◎						
42	市民健康課	情報提供・普及啓発		かまくら食育カレッジ	世代をとおり、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施する4つの学科の一つとして後期離乳食教室を実施。	随時	市内各所	市民	感染対策を講じた上で、少人数で対面式で実施予定。オンラインでも同時配信予定。	○			○	○		◎						

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れてい

令和３年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2（R3）

番号	所 属 ・ 団 体	項 目	令和３年度実施予定事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													
			新規 事業	事業名等	事業内容	時期	場 所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	健康 寿命の延伸と 健康格差の縮小	主な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康	
43	市民健康課	情報提供・普及啓発		健康・食育情報の発信	ホームページやツイッター等を用いて健康・食育に関する正しい情報発信の充実を目指す	随時	市内各所	市民	特になし。	○	○	○	◎	○		○	○	○	○	○	○	○
44	保険年金課	普及啓発		各種パンフレットの作成・配布	国民健康保険や保健事業に関するパンフレットの配布	随時	保険年金課10番窓口/各支所	国保世帯約25,000世帯		○			○	○	◎		○					
45	保険年金課	普及啓発		国民健康保険医療費通知	一月毎の医療費について封書で通知し、健康に対する意識や国民健康保険制度に対する認識を深めてもらうために送付	R4.1 R4.2 年2回発送	郵送	国保被保険者年間で約41,000通		○			○	○	◎							
46	保険年金課	普及啓発		後期高齢者医療保険医療費通知	一月毎の医療費について封書で通知し、健康に対する意識や後期高齢者医療保険制度に対する認識を深めてもらうために送付	R4.2 R4.3 年2回発送	郵送	後期高齢者医療被保険者年間で約60,000通		○				○	◎							
47	保険年金課	普及啓発		国民健康保険ジェネリック医薬品差額通知	特許が切れた後に発売された安価な医薬品（ジェネリック医薬品）について、薬を切り替えると自身が負担する金額がこれだけ安くなる旨の通知をはがきで行う。	R3.4 R3.10 年2回発送	郵送	国保被保険者年間で約4,000通							◎							
48	保険年金課	普及啓発		後期高齢者医療保険ジェネリック医薬品差額通知	特許が切れた後に発売された安価な医薬品（ジェネリック医薬品）について、薬を切り替えると自身が負担する金額がこれだけ安くなる旨の通知をはがきで行う。	R3.11 発送	郵送	後期高齢者医療保険被保険者年間で約30,000通							◎							
49	保険年金課	普及啓発		特定健康診査	鎌倉市国民健康保険に加入している40～74歳の人を対象に、特定健康診査の実施及び未受診者への受診勧奨のための通知を行っている。令和３年度は、これまで受診したことがない方や、毎年受診していただけない方を中心にＡＩを活用してタイプ別に受診勧奨はがきを作成し、約20,000人に対して受診勧奨を行うことで受診率の向上を図る。	R3.6～R4.2	郵送、HP、医療機関等	国保加入者（40～74歳）		○			○	○	◎		○					
50	保険年金課	その他		人間ドック費用助成	鎌倉市国民健康保険に加入している40～74歳の人を対象に、特定健診の代わりに人間ドックまたは人間ドック学会の定める項目を満たしている健診を受けている場合、一部費用を助成する。	R3.6～R4.2	郵送、HP、医療機関等	国保加入者（40～74歳）		○	◎		○	○		○	○		○	○		
51	保険年金課	その他		糖尿病重症化予防事業	糖尿病の発症や重症化予防のため、鎌倉市医師会と連携した保健指導の機会の提供する。	通年	登録医療機関	市民で糖尿病や糖尿病性合併症のリスクのある者	ICT機器を活用したオンライン面談を実施。	○	◎					○	○		○	○		
52	保険年金課	情報提供・普及啓発		特定保健指導	鎌倉市国民健康保険に加入している40歳～74歳の人を対象に、特定健康診査の受診結果に基づき、情報提供や生活習慣病の予防及び早期改善に向けた特定保健指導を実施する。また、未利用者への勧奨を行う。	R3.6～R4.2	郵送、HP、医療機関等	国保加入者（40～74歳）	個別支援のため感染予防に留意し継続。 【動機付け支援】 鎌倉市医師会に委託。また人間ドック助成者に直営で指導を実施（新規）。 【積極的支援】 感染症の流行下でも健康づくりに取組めるよう、オンラインで利用できるプログラムを増設している。	○	◎		○	○		○	○		○	○		
53	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	高齢者ストレッチング、高齢者筋力トレーニング、高齢者健康体操、エアロビクス、ヨガ、チャレンジ体操	通年（コロナの影響による中断あり）	市内体育館等	市民	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。				○	○			◎					
54	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	市民水泳教室	7月～8月	鎌倉海浜公園水泳プール、学校水泳プール	市内在住・在学の小学3年生～中学生140名	参加人数を減らす、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。				○	○			◎					
55	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	鎌倉市民スイミングフェスティバル	新型コロナウイルス感染症拡大により中止	鎌倉海浜公園プール	市民100名	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。	○	○	○	○				◎	○				
56	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	ジュニアソフトテニス教室	通年（コロナの影響による中断あり）	笛田公園	市内在住・在学の小学5、6年生120名	密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。				○	○			◎					
57	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	ジュニアなぎなた教室	調整中	通年	市内在住・在学の小学3～6年生120名	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。				○	○			◎					
58	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	チャレンジバスケットボール	5月	大船体育館	市内在住・在学の小学1～6年生60名	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。				○	○			◎					

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れてください

令和３年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

番号	所属・団体	項目	令和3年度実施予定事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画														
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	健康格差の縮小	健康寿命の延伸と 重症化予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進							
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康		
59	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	鎌倉ジュニアバレーボール教室 大船ジュニアバレーボール教室	4月～2月	御成小学校 大船体育館	在住・在学の小学生 各会場 5 0 0名	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。			○	○				◎						
60	スポーツ課	イベント		体育の日イベント（県民スポーツ教室週間事業）	「市民運動会」 鎌倉市内17会場で地域住民による運動会	新型コロナウイルス感染症拡大により中止	市内の小学校他 16地区17会場	市内小学校地区住民 9, 5 0 0名	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止			○	○				◎						
61	スポーツ課				「武道体験教室」 剣道、柔道、居合道、合気道、なぎなた、少林寺拳法、弓道、太極拳	10月	鎌倉武道館	在住・在勤・在学の小学生から高齢者 2 0 0名	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。				○				◎						
62	スポーツ課				体育の日体力測定	10月	鎌倉体育館	在住・在勤者 3 0名	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○						◎						
63	スポーツ課				サーキットトレーニング	10月	鎌倉体育館	在住・在勤者 3 0名	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○						◎	○					
64	スポーツ課				ストレッチ教室	10月	見田記念体育館	在住・在勤者 3 0名	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○	○					◎	○					
65	スポーツ課				施設の無料開放	10月	鎌倉体育館、大船体育館 鎌倉武道館、見田記念体育館	在住・在勤・在学者 5 0 0人	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。		○	○	○	○	○		◎	○					
66	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「巡回教室楽しくスイミング」 学校水泳プール5会場で遊びを通して、水慣れと泳法の基礎練習	新型コロナウイルス感染症拡大により中止	学校水泳プール	小学生から高齢者 5 0名	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。	○	○		○				◎	○					
67	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「海の魅力発信事業」 ヨット、ウィンドサーフィン、スタンドアップ・パドルボード他	新型コロナウイルス感染症拡大により未定	鎌倉の海	3 0 0名	密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○		○				◎						
68	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「スポーツ・レクリエーションフェア」 ニュー・スポーツの体験や幼児のサーキット運動、民謡、フォークダンスなど	新型コロナウイルス感染症拡大により中止	鎌倉武道館	市内在住・在勤・在学で幼児～高齢者 3 0 0名	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。	○	○		○	○			◎	○					
69	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「健康ウォーク」 鎌倉の海、山の散策と寺社めぐり	2月	コース未定	市内在住・在勤・在学で幼児～高齢者 2 0 0名	参加者を複数グループに分けて密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○			○			◎	○					
70	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「鎌倉市子どもデーブプロ野球観戦ご招待」 横浜DeNAベイスターズによる小・中学生と保護者を（2人1組）御招待	新型コロナウイルス感染症拡大により中止	横浜スタジアム	市内在住の小・中学生 8 0 0組	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。				○					◎					
71	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「鎌倉ゆかりのトップアスリートとの交流会」 徳洲会体操クラブの監督・選手による公開練習と市民との交流会	新型コロナウイルス感染症拡大により未定	<予定> 徳洲会かまくらスポーツセンター	市内在住・在勤・在学者 3 0 0名	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。				○					◎					
72	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	「初心者の子どもの体操教室」 マット・跳び箱・鉄棒・トランポリン	新型コロナウイルス感染症拡大により未定	徳洲会かまくらスポーツセンター	市内在住、在学の幼児、小学生	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。				○	○			◎						
73	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	ベビースイミング教室	9月～10月	こもれび山崎温水プール	市内在住の6ヶ月～3歳未満各 3 0組	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。				○				◎						
74	スポーツ課	イベント		スポーツ教室	アクアビクス、初めてのクロール背泳ぎ、初めての平泳ぎ、初めてのバタフライ、水中歩行、肢体不自由者水泳等	9月～10月	こもれび山崎温水プール	市内在住者各回10～30名（コースによって異なる）	換気、密を避ける、消毒の徹底など一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○			○			◎	○					
75	スポーツ課	イベント	○	スポーツ教室	柔軟性、基礎筋力、心肺機能安定性、体幹筋力、バランス性向上のための運動	7月～12月	オンライン	市内在住の小・学1年生～3年生とその保護者40組	集まることなくオンラインで開催することにより、外部との接触なく実施できる。	○	○		○				◎	○					

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れてください

令和3年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

番号	所属・団体	項目	令和3年度実施予定事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	健康寿命の延伸と 健康格差の縮小	主な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康	
76	こども支援課	イベント	○	鎌倉市冒険遊び場協働運営事業	子どもたちに遊び場の提供を行うことのほか、子育て中の親子に対する支援や子育てを通じた地域の交流を図る。	通年	常設：旧梶原子ども会館等 出張：市内公園等	乳幼児・未就学児（及びその保護者）と小学生、中学生 4,000人程度	【常設（屋内）】 利用者数を施設収容人数の半分程度に制限するため、事前予約制を導入し運営。定期的な換気や消毒も実施している。 【出張（屋外）】 受付にて検温及び手指消毒を徹底して実施。屋外ではあるが、1か所に人が集まらないよう、声掛けをしながら実施。			○	◎				○	○				
77	こども支援課	イベント		かまくらママ＆パパ'sカレッジ特別企画	体操、歌遊び、おもちゃ作りなどの親子遊びを通して、子育てを楽しむ（令和元年度は台風19号の影響により中止）	10月17日 (新型コロナウイルスの影響により中止)	鎌倉女子大学大船キャンパス	主に未就学児とその保護者 1,000人程度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。			○	◎			○	○	○				
78	こども支援課	情報提供・普及啓発		かまくら子育てメディアスポット	保育コンシェルジュ（先輩ママ）による行政の子育て支援、地域の子育て支援情報、親子向けイベントの紹介など http://homepage3.nifty.com/kmspot/	通年	市役所1階かまくら子育てメディアスポット内	主に0～3歳の子と保護者	感染対策からチラシ等は見本を1枚掲載し、希望があれば渡すようにしています。また、メディアスポット内の授乳室、おむつ替えスペースは1度の使用ごとに消毒等を行います。			◎	○			○	○	○				
79	こども支援課	その他		つどいの広場	お母さんやお父さんが気軽に集い、ゆっくりくつろげる広場	通年	腰越行政センターにて実施	主に0～3歳の子と保護者	消毒時間を12時から13時に行い、参加人数が多い場合は利用人数の制限している。			◎	○			○	○	○				
80	こども支援課	情報提供・普及啓発		かまくら子育てナビきららの発行	子育てに関する情報をまとめた冊子の作成	年1回発行	市内各所で配布	15000部	冊子の作成のため、例年通り行う予定とする。			○	◎									
81	保育課	普及啓発		給食だより・保健だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、保育園の献立で使用している食材、作り方等を紹介する。	月1回随時	公立保育園	園児の保護者（約650名）	新型コロナウイルス感染症拡大にかかる事業への影響は特になし。	○	○		○			◎	○	○				
82	保育課	その他		個別面談	アレルギー児の保護者に対して、栄養相談を行う。	随時	公立保育園	園児の保護者（20名程度）	室内換気、パーテーション設置、着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。				○			◎						
83	保育課	その他		一時預かり事業	公立保育園4園（腰越、深沢、岡本、由比ガ浜）私立保育園8園（清心、こぼとナーサリー、たんぼぼ共同保育園、保育園みつばち、山崎、岩瀬、明照フラワーガーデン、佐助保育園）で実施。 保護者と接する機会をとらえ、育児に関する情報提供や相談に応じるなど、子育て支援を行う。	随時	各保育園	保護者（のべ7250名）	新型コロナウイルス対策のため、感染防止対策を整え1日の利用者を減らした。			○	◎					○				
84	保育課	その他		入園児の健康診断	小児科（年2回）、眼科（年1回）、耳鼻科（年1回）、歯科（年2回）		各保育園	園児	規程数の健康診断を行う予定であるが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、実施が遅れている。				◎			○	○				○	
85	保育課	イベント		地域子育て支援事業	・エンジョイ子育て応援講座（BP・目からウロコ講座） ・保育コンシェルジュ訪問相談 ・給食体験 ・離乳食体験 ・わくわく広場 ・各園の広場 ・電話相談	随時	公立保育園	一般市民	相談については、電話等により随時対応している。支援センターでの対面相談は実施した。 給食・離乳食等の食事体験、講座、各園の広場（園庭開放以外）については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度は実施していない。			○	○			○	◎	○				
86	保育課	その他		保健衛生嘱託員巡回訪問	身長体重の計測 健康調査	毎月	各保育園	園児	公立保育園5園 私立保育園16園 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により令和2年（2020年）3月から巡回訪問を中断していたが、公立保育園は令和2年（2020年）6月から、私立保育園は令和2年（2020年）7月から巡回を再開し、毎月巡回訪問を行っている。	○	○		◎									
87	保育課	情報提供・普及啓発		日々の生活リズム	園での生活の中で、日々の生活リズム（遊びなどの運動・食事・睡眠）をつくり、朝ごはんの大切さを学ぶ。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	室内換気、給食時の着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○		◎									
88	保育課	情報提供・普及啓発		「バランスのとれた食事」の啓発と実践	年間調理保育計画年間調理保育計画において「バランスのとれた食事」など、食事の大切さを学ぶ機会をつくり、実践する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	室内換気、食育時の座席配置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○		○			◎						
89	保育課	情報提供・普及啓発		給食をとおし、伝統的な食に親しむ	和食の献立を多く取り入れた給食を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	室内換気、給食時の着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○		◎			○						

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れてください。

令和３年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

番号	所 属 ・ 団 体	項 目	令和３年度実施予定事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	健康格差の縮小	健康寿命の延伸と 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康	
90	保育課	情報提供・普及啓発		スプーンや箸などの食具の上手な使いかたを身につける	日々の給食の中で、月齢、年齢に応じた食具の使い方（スプーンの持ち方や箸の使い方）の指導を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	室内換気、給食時の着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。	○	○		◎			○						
91	保育課	情報提供・普及啓発		食に関するマナーを知る	集団生活の中で、年齢に応じた会食のマナーを身につけることを支援する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、縦割り保育や会食は実施を見合わせているが、日々の給食では室内換気、着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。							◎						
92	保育課	情報提供・普及啓発		「食」に関する感謝の心をはぐくむ	給食、家庭科、技術・家庭科等とおして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てる。食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てる。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	「密」にならないように、少人数ずつ調理室を外から見学したり、日々の給食時間に食前後の挨拶の意味を伝えたりする。							◎						
93	保育課	情報提供・普及啓発		給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食	日々の給食、地域の方との会食会等とおし、一緒に食べる楽しさを体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域交流、会食や食事での会話では新たな課題が生じた１年だったが、着席位置、パーテーション等を工夫により、可能な限り一緒に食べる意義を体験する。							◎						
94	保育課	情報提供・普及啓発		栽培をとおして食べる意欲を育てる	種まき・水やり・雑草とり等手間ひまをかけ、栽培の方法と収穫の喜びを体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	「密」にならないように、少人数ずつ実施する。				○			◎						
95	保育課	情報提供・普及啓発		味覚体験	自分たちで育て、収穫した新鮮な野菜の味を体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	収穫野菜については、調理室での洗浄、消毒を行い提供する。				○			◎						
96	保育課	情報提供・普及啓発		調理体験	自分たちで栽培した野菜や他の食材を使った調理を体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（主に5歳児クラス・約135名）	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度は園児の行う調理保育を行わず、デモンストレーション台で職員が調理する様子を見学するに留める。	○	○		◎									
97	保育課	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	新型コロナウイルス感染症拡大にかかる事業への影響は特になし。				○			◎						
98	青少年課	その他		放課後児童健全育成事業等	子ども会館（児童館類似施設）と子どもの家（学童保育）アフタースクール（放課後子ども教室）の運営	随時 新型コロナウイルスにより実施未定	市内	子ども会館：市内在住の乳幼児～中学生と乳幼児の保護者 子どもの家：市内在住の小学１～6年生アフタースクール：当該小学校区1～6年生	・国の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の状況を考慮しながら、放課後かまくらっ子におけるプログラムを実施する。従来の対面形式からオンライン形式に変更可能な内容は、一部オンライン形式に移行し実施。 ・感染拡大状況を考慮し、プログラム実施回数を調整して実施。						◎							
99	青少年課	その他		子ども卓球教室・フラダンス教室・リズム体操教室	基礎から練習し、身体を動かす楽しさを学ぶ。	卓球：夏・春各３回 フラダンス：夏３回 リズム体操：夏4回 新型コロナウイルスにより実施未定	鎌倉青少年会館	卓球 小学3年～中学生 フラダンス 4歳～小学生の親子 リズム体操 小学生 市内在住・在学	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。								◎					
100	青少年課	その他		各種リトミック教室	音楽を通じ、親子のスキンシップを図ったり、子ども同士の交流を図ったり、障がいのある子どもの情操教育に資する。	毎月 新型コロナウイルスにより実施未定	鎌倉青少年会館	6か月児の親子～小学生など 各種 市内在住・在学	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。								○	◎				
101	青少年課	その他		各種料理教室	料理を通じ、食べる喜びや栄養に関する知識を得る。	原則、毎月 新型コロナウイルスにより実施未定	鎌倉青少年会館	2歳児の親子から中学生まで 各種 市内在住・在学	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。								◎					

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れてください。

令和３年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れて

番号	所属・団体	項目	令和3年度実施予定事業						かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画													
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	健康寿命の延伸と健康格差の縮小	主な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康	
102	青少年課	その他		チャレンジピンポン！ エンジョイ！ ヒップホップダンス やさしいクラシックバレエ 親子でレッツ・エンジョイ・バウンド テニス キッズヨガ 少林寺拳法	楽しみながら基礎を学び、体験する。	ピンポン 7月4回 ヒップホップダンス 10月4回 バレエ 1月～3月10回 テニス 8月4回 ヨガ 6月各2回 少林寺拳法 8月4回 新型コロナウイルスにより実施未定	玉縄青少年会館	ピンポン小学3～6年生 ヒップホップダンス小学生の男女 バレエ小学生以上の青少年 バウンドテニス小学3～6年生と保護者 キッズヨガ小学生以上の青少年 少林寺拳法小学生以上、保護者も可	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。								◎					
103	青少年課	その他		親子で遊ぼう！にこにこ3B体操	用具を使って楽しく遊び、ママのストレッチもする	5月、10月 新型コロナウイルスにより実施未定	玉縄青少年会館	2～3歳児と保護者	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。								◎					
104	青少年課	その他		リトミックであそぼう	リズムや拍などを感じ取り体で表現する	毎月 新型コロナウイルスにより実施未定	玉縄青少年会館	①2歳位の子ども ②3歳位の子ども	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。								◎					
105	生涯学習課	情報提供・普及啓発		市民大学講座～口腔ケアは命をのばす	全身の衰えを防ぎ健康体を維持するための口腔ケアを学ぶ	2月	深沢学習センター	一般市民	参加する人数を減らし、感染防止対策を徹底して行う。	○	◎											◎
106	生涯学習課	情報提供・普及啓発		高齢者の心理的特徴	高齢者との接し方を学ぶ	5月	大船学習センター	一般市民	参加する人数を減らし、感染防止対策を徹底して行う。			○		◎								
107	生涯学習課	情報提供・普及啓発		手のツボで健康増進	簡単にできるセルフケア	10月	玉縄学習センター	一般市民	参加する人数を減らし、感染防止対策を徹底して行う。	○	◎											
108	生涯学習課	情報提供・普及啓発		ひきこもりの理解と対応	一人で一緒に考えて考える	9月	玉縄学習センター	一般市民	参加人数を減らし、感染防止対策を徹底して行う。			◎		◎								
109	生涯学習課	情報提供・普及啓発		仕事帰りのリフレッシュヨガ	ヨガと呼吸法を勉強する	11月	玉縄学習センター	一般市民	参加人数を減らし、感染防止対策を徹底して行う。								◎	○				
110	学務課	その他		定期健康診断	年1回健康診断を実施し、健康の保持増進を図る。	年1回 (3月31日までに実施予定)	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	健診に使用するためのパーティション、使い捨て白衣、フェイスシールド、シート、手袋及び消毒液の配付を行い、感染症対策の徹底を促した。	○	○		◎				○	○	○			○
111	学務課	その他		歯科保健指導	歯科医師会と連携し、視覚的教材を活用した歯科保健指導の実施	小学校 10月～12月 中学校 11月～3月	市立小学校、市立中学校	市立小学校1年生～4年生 中学校1年生	外部講師の来校を中止し、養護教諭による動画や教材を使用した授業に変更する予定。	○	○		○									◎
112	学務課	情報提供・普及啓発		小学校給食についての広報	地場産の食材を使った給食の様子を紹介し、学校給食の意義と役割について広く市民に理解を深める	通年		市民	特になし。								◎					
113	学務課	情報提供・普及啓発		給食だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、献立の作り方を紹介する	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	特になし。								◎					
114	学務課	情報提供・普及啓発		鎌倉伝統の食による献立の作成	鎌倉の伝統の食であるけんちん汁の献立を作成し、次世代に伝える	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	特になし。								◎					
115	学務課	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	特になし。								◎					
116	学務課	情報提供・普及啓発		季節の食材の紹介	給食室や栄養士から、季節の食材情報を発信する	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	特になし。								◎					
117	教育指導課	その他		保健だより、健康だより等の発行	望ましい生活リズム等を児童生徒・家庭へ伝える。	随時	市立小・中学校	児童生徒・保護者		○	○	○	◎				○	○	○			○
118	教育指導課	その他		朝会、学級指導、道徳の時間等を利用した指導	望ましい生活リズム等を児童生徒へ伝える。	通年	市立小・中学校	児童生徒	朝会については、放送や校庭で十分に距離をとるなど、感染症対策を講じて各校で工夫して取り組んでいる。	○	○	○	◎				○	○	○			○
119	教育指導課	その他		児童会・生徒会活動	望ましい生活リズム等を児童生徒が考える。	通年	市立小・中学校	児童生徒	生徒総会はオンラインで実施するなど、感染対策を講じて各校で工夫して取り組んでいる。	○	○	○	◎				○	○	○			○

当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れてください。

令和３年度「鎌倉市健康づくり計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

番号	所属・団体	項目	令和3年度実施予定事業							かながわ健康プラン21及び鎌倉市健康づくり計画												
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	健康格差の縮小	健康寿命の延伸と 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上			健康を支え、守るための社会環境の整備	生活習慣の改善の促進						
												こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康づくり	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康	
120	教育指導課	その他		食育の推進	栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性、また自然の恩恵・勤労などへの感謝や食文化などについて、教科等の内容と関連させた指導を行う。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施	○	○					◎						
121	教育指導課	その他		健康・保健学習	体の発育・発達について (変化と食生活・運動・休養及び睡眠との関係) 飲酒・喫煙について等	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施	○	○	○	◎			○	○	○	○	○	○	○
122	教育指導課	イベント		鎌倉市小学校陸上記録大会	市内17校の6年生による陸上記録会を実施	10月	大和スポーツセンター	6年生	中止	○	○	○	○				◎					
123	教育指導課	情報提供・普及啓発		食育だよりの発行	中学生へ、食や健康に関する情報を提供したり、朝食のレシピを紹介する	6月1月	市立小・中学校	生徒、保護者、教師	紙面作成の上配布なので、問題なく実施	○	○		○			◎						
124	教育指導課	その他		給食をとおしてバランスのとれた食を学ぶ	バランスのよい日本型食生活を取り入れた献立の給食を提供することで、食べる体験からバランスのよい食事の大切さを学ぶ。	通年	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、食事時の会話はしないなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施	○	○		○			◎						
125	教育指導課	その他		生活リズム強調期間の設定	長期休業中の生活指導等、年間指導計画に基づき実施した。	随時	市立小・中学校	児童生徒		○	○	○	○			◎						
126	教育指導課	その他		家庭科等の教科における食育		随時	市立小・中学校	児童生徒	調理実習については、手洗い消毒等感染症予防対策を徹底しての実施	○	○	○	○			◎						
127	教育指導課	その他		食に関する年間指導計画を策定	全校で策定する。	2月	市立小・中学校	児童生徒	教員作成文書のため、コロナ感染防止対策を踏まえて策定	○	○	○	○			◎						
128	教育指導課	その他		家庭科、特活等における学習	食と安全、食品の選び方・買い方、バランスのよい食事、健康と食べものなどについて学ぶ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施	○	○	○	○			◎						
129	教育指導課	その他		「食」に関する感謝の心をはぐくむ	給食、道徳科、家庭科、技術・家庭科等をとおして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てる。食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てる。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施	○	○	○	○			◎						
130	教育指導課	その他		給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食	日々の給食やランチルーム会食会、地域の方との会食会等をとおし、一緒に食べる楽しさを体験する。	随時	市立小・中学校	児童	児童・生徒間の距離を取る、食事時の会話はしないなど、感性予防対策をとりながら給食は実施 会食に関しては中止	○	○	○	○			◎						
131	教育指導課	その他		生産体験学習	栽培活動をとおして、食生活が多くの人に支えられていることを学ぶ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施	○	○	○	○			◎						
132	教育指導課	その他		食料生産に関する学習	社会科等の教科の中で、食料生産を支える人々について学ぶ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小・中学校の栽培環境のある学校で実施	○	○	○	○			◎						
133	教育指導課	その他		職場体験(キャリア教育)の実施	総合的な学習の時間をとおした、職場体験を実施する。	随時	市立小・中学校	生徒	中止	○	○	○	○			◎						
134	教育指導課	その他		社会科等の教科における学習の実施	市教委作成「かまくら」「わたしたちの鎌倉」を用いて、「食」ともつながる身の回りの環境を学習し、環境保全の意識をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒		○	○	○	○			◎						
135	教育指導課	その他		環境教育の実施	教科、総合的な学習の時間等をとおし、身近な環境からグローバルな環境まで考える力をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	iPad等を活用するなど、感性予防対策をとりながら、小中学校で実施	○	○	○	○			◎						
136	教育指導課	イベント		鎌倉の地域に関する学習	社会科、総合的な学習の時間等の時間をとおし、鎌倉の地に興味を持つことで地域づくりへの意識をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	iPad等を活用するなど、感性予防対策をとりながら、小中学校で実施	○	○	○	○			◎						
137	教育指導課	その他		牛乳パックのリサイクル	給食にでた牛乳パックのリサイクルを習慣化し、環境にやさしい生活への意識をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小学校3校実施 その他小学校13校、中学校9校は感染症予防対策の観点から実施せず。							◎						
138	教育センター	情報提供・普及啓発		食育研修会の実施	児童・生徒へ「食育」を伝えるため、まず、教育に携わる教職員の研修会を開催し、一人ひとりが「食とは何か」を考える	年1回 夏季休業期間中	市内	小中学校教職員 幼稚園・こども園・保育園・こどもの家等職員	参加人数を限定し、実食を取り止めるなど内容を変更して行った。室内での研修時は、参加者に手指消毒・マスクの着用をお願いし、室内の換気を行った。							◎						